

## これだけは覚えよう！重要ポイント

円錐

1つの円を底面に持つ

母線

頂点から底面の円周上の点への線分

高さ

頂点から底面への垂直距離

Q. 円錐とは？ 1つの円を底面に持ち、側面が曲面で1点に集まる立体。

## ① 円錐の定義

定義

底面が円、側面が曲面で、1つの頂点に集まる立体。アイスクリーンの形。

底面 = 円, 側面 = 曲面

## ② 母線と高さ

構成

母線は頂点から底面の円周への斜めの線。高さは垂直距離。

$$l^2 = r^2 + h^2$$

## ③ 展開図

重要

側面を開くとおうぎ形になる。おうぎ形の弧の長さ=底面の円周。

$$\text{弧の長さ} = 2\pi r$$

## ④ 角錐との違い

比較

角錐は底面が多角形で側面が三角形、円錐は底面が円で側面が曲面。

角錐 → 平面, 円錐 → 曲面

## 💡 ミス回避のコツ

## ⚠️ 母線と高さを混同

✖

母線 = 高さ

○

母線は斜め、高さは垂直

母線は斜面の線、高さは垂直に測る。

## ⚠️ 展開図で間違える

✖

側面は長方形

○

側面はおうぎ形

円錐の側面を開くと「おうぎ形」になる。

## 最終確認チェックリスト

- 円錐の定義を言えるか？
- 母線と高さの違いを理解したか？
- 展開図での側面の形を覚えたか？